

たよう しゅたいせい かんよう きょういく
～多様な主体性を涵養する教育～



爽やかな季節が過ぎて、梅雨の季節に移ってきたように感じます。子どもたちは、園庭や駐車場にできた水たまりが大好きです。いろいろな場所にできる水たまりの感触を楽しんでいます。

幼児期における感覚遊びは、子どもの脳と心の発達において、すべての土台となる重要な役割をもっています。幼児期の脳は、感覚から刺激を受けることで回路をつなぎ替えていく真っ最中にいます。

園での感覚遊びといえは何でしょうか。砂や泥や水遊び、粘土をこねる、ちぎるなど、また毎日何気なくしている帳面のシール貼りや上靴の着脱にも微細な動きが入っています。このさまざまな刺激が脳の発達へとつながり、手や指先の細かい筋肉を発達させ、将来的にスプーンや鉛筆の正しい持ち方につながります。

このように幼児期の感覚遊びは、子どもたちの成長にとって欠かせない大切なプロセスになります。

毎日の体づくり「にんにんタイム」

～豊かな感覚体験と粗大運動をすることは、将来の思考力や学習能力の土台をつくる～

各学年のねらいに添って毎日の運動を続けています。

なぜ体づくりが大切なのでしょう。毎日、楽しいと感じる運動の時間を工夫することでさまざまな力が育成されます。

○基本的な動きの獲得：走る、跳ぶ、登る、バランスをとる
→生涯にわたって必要となる体の使い方の基盤を学んでいます。



○怪我の防止

→自分の体をコントロールする力（協調運動能力）を高め危険回避能力の向上を目指しています。

○社会性とコミュニケーション能力

→楽しい運動を通してルールを理解、協調したり、共感したりすることで社会性を獲得しています。

○空間認知能力の向上

→脳の前頭葉の働きを促しながら物との距離感をつかんでいます。



子どもたちの「なんでだろう？」の好奇心を大切に
～好奇心から生まれる観察力は、問題解決能力の基礎を育む～

なぜ？ あれはなに？ どうして??



保護者の方で、子どもの「どうして？」に一生懸命に答えていらっしゃる姿を見かけます。とても大切なことですね。子どもたちは、お家の方の話をよく聴いています。これからもあたたかく子どもたちに伝えていってもらえたらうれしいです。

「なぜ土の中に植えるの?」「なぜこんな形?」「どうしてお水をあげるの?」など、子どもたちの「なぜ?」「どうして?」の疑問が多いですね。これは、子どもたちが観察する中で、好奇心がわいている証拠です。この疑問に共感して答えていきたいと思い常日頃から言葉掛けを工夫しています。園で行っている直接体験は、実際に目の前で命と向きあう中で、さまざまな知的好奇心を育てていく活動です。



～あいママレストランでは、多様な感情体験を大事にしています～

収穫した野菜は、なぜかミラクルに大変身。「不思議だね。」「マジカル?」「うわあ、おいしい!」「あったかい!」このように仲間とともに豊かな感情体験の積み重ねをすることで生涯にわたって成長し、新しい発見を楽しむことができる柔軟な問題解決能力につながります。

現在、どの学年も収穫したてのタマネギを食べて楽しんでいます。「あまい〜!」と子どもたちに大人気になりました。



OPEN

桃青の丘 PTA 有志サークル活動

～子どもも大人も育ちあう園づくり～



2026年度のPTA活動が始まっています。

今年度の本部さんは、時々集まって対話をされることを大事にしてくださっています。また、率先して人権研修会にも参加されています。

そして、有志のサークル活動が始まりました。

元気の出る「ももっこ広報」からスタート。「ガーデニング部」さんは、子どもたちと一緒に花壇を整えました。えんのおしサークルも活動中です。

現在、「幼稚園教育を考える会・ちょこぼら部」さんを中心に、未就園児の会ポスター配布、さくらっこ受付などを率先して手伝ってくださっています。また、「ふえり〜すクラブ」さんは、1学期の間に子どもたちと楽しく活動する企画を考えてくださっています。

みなさんのお力をかりて、園生活と園教育を充実することができています。感謝しながら日々の取り組みをさらに工夫していきたいです。

～6月あさがおイラスト～
好奇心とするどい観察力をもつ
まさるさん

文責 まつなが あい